



全支部青年部活動者会議成功！



動労千葉

79.6.19

No. 150

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄）二二五八・九（公巻）三三三二七二〇七

八〇年代へ向けた青年部運動の創造を！

動労千葉の組織化は着々と前進している。六月一六〜一七日の二日間、青年部は、第一回全支部活動者会議を開催し、八〇名の青年部員を結集し、熱心な学習と討論を通して八〇年代へ向けた青年部運動の創造と理論的強化をかちとつた。とりわけ①、とめどなく翼賛化、産業報国会化を深める日本労働運動を戦闘的・再編するにため、必ずや、動労大改革を實現しめ、と、そして②、おそるべき侵略と反動と戦争への道を突き進む、東京サミット（六月二八〜二十九日）に対する労働者階級のよるべき立場を鮮明にし、闘争の構筆を確立したことは、決定的な意義をもつものである。

青年部は激動期の労働運動の先頭にあつ！

会議は、外山常任委員（木更津）による、「この会議を二年後、三年後には全国活動者会議と言えるように発展させよう」との力強い宣言によって開催された。

吉野青年部長挨拶に続き、動労千葉関川委員長、部落解放同盟千葉県連関口書記長、総評全金本山支部代表、千葉県青年共闘代表からの挨拶を受け、田中青年部書記長からの基調報告が行われた。

基調報告は、青行隊結成以来、六ヶ月間の激闘の成果と教訓を全面的に明らかにし、いよいよ本格的に開始された激動期の労働運動の進むべき道をはっきりとつかみとり、動労千葉青年部こそがその先頭を切り拓くことを鮮明に提起し、全体で確認されたのである。

第一日目の最後に、各地区上映運動の先陣を切って、映画「オモニ」怒りは燃える」の上映、および、夕食をはさんで各支部交流会がもたれた。

二つの講演を中心に熱心に学習・討論！

第二日目は、東京大学助教授の田中先生「帝国主義論」、元動労千葉地本青年部長・滝口氏の「戦争と反動への道―東京サミット粉砕に向けて」と題する二つの講演をうけた。

二つの講演は、なぜ今日、世界の帝国主義同士が対立や抗争を深め、戦争への道をとろうとするのか、その根拠は何か等をわかりやすく照らし出し、「東京サミット」をめぐる恐るべき現実に対し労働者は、一体いかなる態度をとるべきなのかを鋭くつきつけるものであった。

その後、熱心な討論が交され、最後に繁沢常任委員の「まとめ」と宮内副青年部長の団結ガンバローをもって二日間の全日程を終了した。さまざまな動労千葉破壊攻撃をはねかえして、からとられたこの第一回活動者会議こそ、新生動

第四

労千葉青年部運動が、あらゆる領域で着実な前進を闘いの中からかちとつてきてきていることを、はっきりと示すものである。

映画『オモニ』を上映

第一回青年部全活

「お母さん、僕は、誠実に、真実であれかしと生き、万事かくあれと願ひ死にます。暗い勤労者の側にたつて僕の死をむだにしないで下さい。お母さん約束してくれませぬ。」
映画「オモニ」は、主人公の全泰壹（チオンテイル）さんの「日記」朗読をもって始まり、全参加者に深い感動をあたえ、日帝の朝鮮侵略に怒りを新たにしたのである。

日帝の侵略と抑圧を許すな！

幕張支部青年部 Y 生

「オモニ」を観て自分はずかしくなった。何故、**全泰壹**氏が焼身自殺をとげたのか。現在、南朝鮮・韓国労働者が日帝の経済侵略によって極めて劣悪な労働条件下におかれているのだ。我々は帝国主義本国の侵略と抑圧を許してしまっている労働者として、**全泰壹**氏の精神に学び、朝鮮人民への差別を打ち破り、真に連帯してゆかねばならない。

佐倉支部チームも参加し熱戦を展開！！

成田	勝浦	新小岩	幕張	津田沼	千転	佐倉	館山
2	0	2	0	3	2	0	2
2	0	0	0	2	0	0	6
0	0	0	0	0	1	1	0
1	0	0	0	0	0	0	2
0	0	3	0	1	0	0	2
0	2	0	0	0	3	1	12
0	0	X	0	1X	0		
5	2	5	0	7	6		

館山、津田沼、新小岩、成田、準決勝へ進出！ 詳細次号！

野球大会速報